

感染対策 さらに前へ 日本共産党

■検査センター・コロナ専用病床 フル稼働

市検査センターは12月20日時点で380件超の検査に対応し、週2日、検査の最前線に立ち、民間医療機関・スタッフの奮闘が続く専用病床（10床）もフル稼働。

さらに、発熱外来も市内11カ所（12月20日現在・未公表）で開設しました。

■感染者集団（クラスター）の防止、自宅待機者へ配食がスタート

保育園や学校、高齢者施設等へのクラスター対策が効果を発揮。市内高齢者施設では、保健所が指定した濃厚接触者6名を除く、感染者周辺の84名に検査を実施。早期の検査・保護・追跡体制を構築しつつあります。

また、自宅療養者に対し、12月から県・市で配食サービスが始まりました。

■感染手当の支給

国民や全国の医療機関等からの要望もあり、医療、介護、障がい者福祉には国から感染手当が支給され、さらに12月から、県費を活用した学童保育支援員（約300人）への感染手当（平均8万円）が支給されることとなります。

■保健医療機関との緊密な連携や差別禁止を盛り込んだ『新型コロナ条例』が議会発議で成立

新型コロナウイルスに絡み差別禁止を盛り込んだ条例が成立したのは10月までで20都県市。そのうち流山市は3番目に早く、千葉県内では本市だけ。しかも、保健医療機関との緊密な連携まで行政に求めています。

医療・介護を支えぬく

市は4月以降、感染症対策等のため予算を増加、総額47億9千万円余（定額給付金等、国事業除く）にも。その使い道は、教育費25億円（52%）がトップ。次いで福祉等の民生費に約7億6千万円、医療など保健衛生費は6億8千万円、経済対策を含む商工費は4億9千万円に…。そのもとで、党市議団は、医療・介護分野を底上げすべく、総額7億1千万円の追加予算を提言しました。

流山市への提言

- 地域医療機関強化支援事業（経営損失の一部補填） **5億円**
- 発熱外来者及び救急患者等受入支援事業 **3500万円**
- 検査センターや療養施設等送迎事業 **3000万円**
- 高齢者施設等従事者へのPCR検査補助事業 **1億円**
- PCR検査拡充事業 **4500万円**

「2021年を変化の年に」

今年は、10月までに必ず総選挙が。さらに、3月には知事選挙が行われます。消費税10%増税や新型コロナ感染症対策における失政で、安倍首相は突然辞任。菅内閣も支持率が急落しています。国政でも地方でも、「市民と野党の共闘」の勝利をめざして力をあわせましょう。



市内医療機関から状況や要望をお聞きする党市議団

変えよう

命・暮らし守りぬく政治へ



市へ要請を届ける党市議団（左から、いぬい紳一郎議員、植田和子議員、高橋あきら議員、小田桐たかし議員）



流山市加4-1688 TEL/FAX (7157) 6140
流山市議会事務局 平和台1-1-1 04 (7150) 6099

ご意見・ご要望をお寄せください メールアドレス giindan@nagareyama-jcp.jp

日本共産党流山市議団